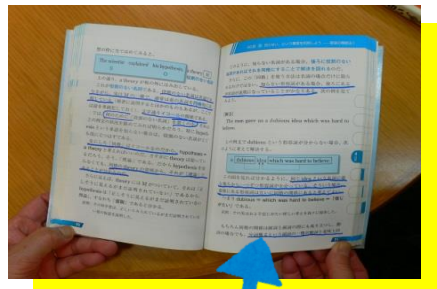


★本を大切に★エイブル祭り期間中、ぜひ「本が泣いてますコーナー」にお寄りください

第12回エイブル祭りが5月11日(日)～18日(日)の期間で開催されます。お祭りに合わせ、図書館では、「本が泣いていますコーナー」を設けます。図書館に置いている資料は、全ての鹿島市民の大事なたからもの。たくさんの方が気持ちよく読むことができるよう、どうか大切に 부탁드립니다ね。



ペンで線を引かれてしまった本。これは大人の本なのですが…。

破れたまま返却された本。大事な最後のページがこのようなことに…



傷つけられたDVD。全く再生できません。

みんなでマナーを守ろうね!



もしも、借りたものを破いたり汚したりしてしまったときは…。



- ★必ず図書館の職員にお知らせください。
- ★破れてしまったものは、自分で修理せず、そのままお持ちください。
- ★くれぐれも本の返却ポストには入れないようお願いいたします。

開館カレンダー

ぬりつぶし：お休みです

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・5/3(憲法記念日)・5/5(子どもの日)・5/6(振替休日)は開館します。

開館時間
9:30～19:00
土・日・祝日は17:00まで

♪おはなし会 好評開催中♪

- あんころもち (0歳) 火曜 14時～
- きびだんご (0～3歳) 第1・3水曜 14時半～
- おはなし会 (3歳以上) 土曜 14時～

としょかん日記

希望に満ちた明るいスタートをきる人、雌伏や自戒自重で新たな転機を待つ人など、それぞれ新たな出発を迎える時期。「禍生得意 福育隠微」という言葉は総理大臣在職中に病死した大平正芳の造語で、「物事が順調に進んでいる時に禍の種が生まれており、ごくわずかな小さな出来事の中に幸福の種がある」との意味です。大平正芳は漢学に造詣が深く、哲学をもった政治家でした。その大平が政治家としての絶頂から不遇の時代に暗転する瞬間、さらに息子の急死も重なった状況で、自らに課した言葉が「禍生得意 福育隠微」でした。みなさんも支えになる言葉を探して、図書館の本の中を旅してみませんか。(T)

かしましみんとしよかんだより

みんと

第150号

2014年5月



今月のみんと

- ★ 「故 辻村素彦先生をしのんで」
- ★ 近代鹿島の文学風土と地域文学資料
- ★ 子どもの読書週間イベント
- ★ 新着本の紹介
- ★ 本を大切に
- ★ 5・6月の開館カレンダー
- ★ 図書館日記

発行 かしま市民立薬修大学
鹿島市民図書館
佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
Tel (0954) 63 - 4343
Fax (0954) 63 - 2217
ホームページ
http://www.library.city.kashima.saga.jp
<QRコード>
Eメール
kashimal@theia.ocn.ne.jp



こどもの読書週間イベントのお知らせ

5月の図書館は子ども向けのイベントが盛りだくさん!

休日は図書館へ行こう!

としょかんビンゴ

図書館探検隊

一日図書館職員体験

詳しくは3ページへ!



「故 辻村素彦先生をしのんで」

棺に横たわる先生の胸には1冊の新書が置かれており、私は伸び上がってその書名を見ようとしたのですが、確かめることはできませんでした。昨年亡くなられた辻村素彦先生のご葬儀の時のことです。エイブル初代図書館長を務められた方で、私にとっては、高校3年生の時に漢文を教えていただいた恩師でもあります。魅力的な授業をされる先生でした。孔子を語っても漢詩を語ってもどんどん話が広がり、先生の膨大な読書量や豊かな人生経験、いきいきとした好奇心が、18歳の私には本当にまぶしく感じられたものです。私が図書館に勤めるようになってからも時折来館され、お話をうかがうのが楽しみでした。

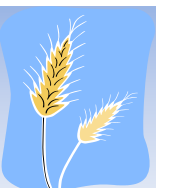
先生の死後しばらくして、「古典文学研究会」様より、寄附金をいただきました。辻村先生を中心に源氏物語を読む研究をされていた会を閉じることになり、運営のお金を「辻村先生のご遺志を受けて図書館に役立てて欲しい」と寄附して下さったのです。開館時より蔵書数がぐんと増え、各コーナーが窮屈になっていましたので、書棚購入にそのお金を使わせていただきました。限られたスペースを有効利用しようとして様々な大きさの図書館家具を注文し、やっと全てが届きました。「源氏物語特集コーナー」を設けて、新しい書棚のお披露目しようとして現在準備中です。

実は、自分が図書館に勤めるとは思ってもいなかった10年以上前に、当時の辻村館長による「図書館について」の研修講義開催の噂を聞きつけて、楽しみだった先生の授業をもう一度聞きたい一心で、ここエイブルの研修室に足を運んだことがあります。すでに体調を崩され「腰掛けたままで失礼します」と会を始められたのに、話が佳境に入ると立ち上がり、そのまま熱く話し続けられた先生の姿が心に残っています。

この文章を書くにあたり、「みんと」創刊号から22号までの辻村館長の文章を読み返し胸がいっぱいになりました。「…鹿島市民図書館、略して「民図」にちなんで…ミントのように爽やかな知性の香りを発散する、皆様の【知】のより所となれるよう精一杯の努力をかさねていきたい…(創刊号)」「ひたすら新刊のベストセラー貸出しに熱心な無料貸本屋になることなく、逆にまた徒に権威主義・教養主義の図書館になるのでもない、本当に市民の皆様のお役に立つ図書館のあり方を、館員一同、市民の皆様と一緒に模索していきたい…(8号)」共感し、心打たれます。

「一粒の麦、もし死なずば…」と言います。私は先生のまかれた種から芽吹いたちっぼけな芽のひとつに過ぎないけれど、現館員とともに先生のご遺志を受け継ぎ、日々努力を重ねていきたいと思っています。

図書館長 野崎千代美



★近代鹿島の文学風土と地域文学資料★郷土コーナーに常設展示ができました



この度、地域資料コーナーの一角に近代鹿島で生み出された漢詩文・和歌・俳諧の資料を展示する「近代鹿島の文学風土と地域文学資料」の常設展示が始まりました。

こちらのコーナーでは、鹿島藩最後の藩主鍋島直彬公の『綱堂遺稿』をはじめ、原忠順・谷口藍田・勝屋明濱など近代鹿島の文学風土を彩った資料を多数展示しています。



展示している資料は、刊本・写本・掛軸・詩箋（しせん）といった様々なかたちで人々の間を行き来し、場所や世代をこえて鹿島の文化を伝える役割を果たしてきました。また、これらの漢詩文や和歌には、当時の鹿島の風景や人々の交流の様子も詠われています。この展示が鹿島の文学風土について再認識する一助となれば幸いです。

★寄附をいただきました★古典文学同好会より

今月号1ページ「故 辻村素彦先生をしのんで」でもご紹介しましたように、このたび、古典文学同好会様よりいただいた寄附金をもとに、展示のための棚を購入しました。



↑大型絵本の棚
子供たちが大きな絵本を出しづらかったのですが、スッキリと取り出しやすくなりました。

↑そのほかの棚
『源氏物語』などの展示を予定しています。

←ヤングコーナー新着本の紹介棚
新しく届いた本を分かりやすく紹介できるようにしました。

ありがとう
ございました!

新着本

そのほか、松岡圭祐『ジェームス・ボンドはこない』、『枕博士が教えるこれからずっとぐっすり眠れる枕の本』(健康)、『日本人のための「集団的自衛権」入門』(社会)『鳩居堂のはがき花暦』など、色々なジャンルの本が入りました。

『ミッドナイトバス』



伊吹勇喜:著
文藝春秋:出
東京での過酷なサラリーマン生活を辞め、故郷の新潟で深夜バスの運転手をしている主人公。そんなある夜、バスに乗ってきたのは、十六年前に別れた妻だった…。家族の再生物語。

小説

『今宵堂今日の晩酌』



酒器今宵堂:監修
平凡社:出
京都の酒器専門店「今宵堂」夫婦が手軽に楽しめる、季節に合った家飲みスタイルを提案。真似して鹿島のお酒をよりおいしく味わってみませんか?

暮らし

『副島種臣』



森田 朋子・齋藤 洋子著
佐賀県立佐賀城本丸歴史館:出
佐賀新聞の題字でおなじみ副島種臣。多くの知識人の尊敬を集めた副島の巨大な姿を新たな視点から照らし出した一冊。シリーズもぜひどうぞ。

伝記

『難病カルテ 患者たちのいま』



蒔田 備憲:著
生活書院:出
難病は他人ごとではない。こういう病気があることを知ってほしい…。佐賀県内の68人の難病患者の声を聴き、ありのままの生活を書きとめた毎日新聞記者のレポート。

闘病記

『企業の農業参入 地域と結ぶ様々なかたち』



大仲 克俊ほか:著
筑波書房:出
2009年から本格的に始まった企業の農業参入。農業をプラスにするようなかたちで経営に取り込んでいる4企業について紹介。薄いブックレットですが内容充実。

農業

★イベントのお知らせ★

4月23日～5月12日は、
第55回 子どもの読書週間です。



いつも、いっしょ。本と、いっしょ。



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を、との願いから始まった「こどもの読書週間」。幼いころから本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。

読書週間は、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき。だからこそ、ゴールデンウィークはご家族みなさんと図書館へ。たくさんのが、みなさんをお待ちしています。

コチラは申込不要!

5/1(木)～6(火)

しめきり間近!! 申し込みは4/20(日)まで★

5/8(土)・4(日)

5/11(日)

図書館探検隊

図書館をたんけんしてみよう! ふだんは入れないところにも入れるよ!

対象:小学生

時間:10時～12時の間で30分程度

定員:30名ほど

※チラシの応募券を市民図書館や小学校図書室の応募箱に入れて申し込んでください!

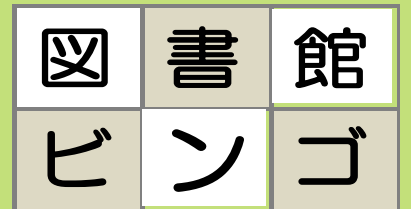
一日図書館職員体験

図書館のお仕事にチャレンジ!

対象:小学生

時間:
【1～3年生】9時～11時半
【4～6年生】13時半～16時

定員:12名



いろいろな本を借りてビンゴカードを制覇しよう! プレゼントあり★
対象:3才～小学生
時間:開館から閉館30分前まで
受付:貸出カウンター前